



NO. 1937
2015. 3. 22

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313
qqsw67zb9@bird.ocn.ne.jp

http://www6.ocn.ne.jp/~jcp-tsur/

大高 門 崎 子
橋 高 紙 智 子
国会議員連絡所
原市議団事務所
鶴岡市美原町16-5
☎22-3313
FAX24-4096

無料生活相談所

加藤 太一
稲生 2-6-6
24-5935

関 徹
長者町11-26
24-2414

加藤 鉦一
宝徳 仲田 56
64-3941

菅井 巖
中 桶 9 6
33-0534

県議選告示(4月3日)間近

関とおるの予定候補大奮闘



「3.13重税反対鶴岡田川地区集会」であいさつ、デモ行進では先頭を歩く(13日、鶴岡市勤労者会館)



「秘密保護法廃止!“戦争ノー”憲法改悪を許さない市民集会」で開会あいさつ、デモ行進に参加(15日、マリカ広場)



「悩みすっきり!子育てママパパ語らいカフェ」で参加者からの切実な訴えをじっくり聞く(15日、山王日枝神社社務所)

山形県議会議員選挙の告示(4月3日、投票は12日)が間近に迫っています。

日本共産党の関とおる予定候補は、4年前に失った鶴岡市選挙区の議席奪還を目指し連日奮闘しています。

先週末は各種集會に出席。あいさつし、デモ行進に参加し、また参加者からの切実な訴えを聞くなどしました。

13日に開催された「3・13重税反対鶴岡



関とおるのきつぱり発言、ドンドン行動

同日午後、山王日枝

子育てママからの切実な訴えを聞く

田川地区集會」では、日本共産党を代表してあいさつと決意表明を行い、デモ行進では先頭を歩きました。15日午前には開催された「秘密保護法廃止!“戦争ノー”憲法改悪を許さない市民集會」では開会のあいさつをし、デモ行進に参加しました。

関氏は、3人の子育てやPTA活動の経験を語りました。参加者からは「母子・父子家庭は経済的に大変」「障がいのある子どもが生き生きとくらせる社会にして欲しい」など切実な声が出されました。

しょうゆバター」はん

先日、母一人で4人の子育てしてきたという方から、「お金が無くなると、『しょうゆとバターで炒めたご飯』だけの食事になった」というお話を聞きました。「三人目は月三千元しか出ない(しかも加算されない)児童扶養手当」のことも訴えられました。

私は18年間のPTA活動を通して、市議としての9年間を通して、貧困に苦しむ多くの家庭と出会いました。特に胸が痛んだのは、こうした一人親家庭の貧困です。

子どもの貧困拡大政治

母子二人暮らしで県立高校に入学した息子が学費を捻出するためアルバイト、部活も、友達と遊ぶ時間も無く、毎日働く生活の厳

しさから学校を休みがちとなり、母親が気づいた時には既に進級困難で退学となったというご家庭もありました。

こうした高校生と家族の苦しみを、経済的理由で退学する高校生を大きく減少させましたが、自公政権は制度を廃止しました。

子ども・子育て守る県政を 県は昨年、渡辺ゆり子党県議の提案に応じて、子どもの貧困対策計画を策定すると表明しました。

国の政治の根本的転換をめざすとともに、子ども医療費高3まで無料化、学童保育充実、返済不要の奨学金制度創設など、県としての施策の新設・充実に全力で取り組んでいく決意です。

市町村合併の効果の総括は 合併に対する評価を問う市民アンケート実施を

9日に行われた鶴岡市議会の一般質問で、日本共産党の加藤鉦一議員は①平成大合併の総括、②市道除雪作業における支障箇所対策についてを取り上げました。

廃止された旧町村のサービス再評価を



問 合併後10年を節目として、合併によるプラスの効果とマイナスの効果を経括する必要がありますかと思うが。

総務部長 合併特例措置を活かし、消防本部や総合保健福祉センターの建設、小中学校の改築、耐震化、加茂水族館や新文化会館の建設に着手。

第3子の保育料の無料化や、中学生までの医療費無料化。

各種の窓口手続きや保育所など市内全域で利用が可能。

防災面での全市的な対応と東日本大震災での被災地支援。

産業施策が一つの経済圏として全市展開され観光でも大きな成果。バイオ研究や食文化創造都市など戦略的なまちづくりなどを進めてきた。

行財政改革では、病院を除く職員数は平成17年度当初の1647人から、26年度当初には1337人と310人減少し、単年度ベースで約25億円の財源が

生み出されている。

問 合併による問題点や課題として、①周辺部となった旧町村の活力低下、人口流出、②住民の声が届きにくい、③きめ細かなサービスの低下や廃止などに対して、十分な対応策が図られたのか。

合併に対する市民の評価をアンケートなどで把握するべきではないか。

総務部長 地域審議会が有効に機能し、来年度以降も地域懇談会を設置し、地域の声を聞き対応していく。

他にも市長と車座ミーティング、市長と語る会、市長への提言ハガキも実施している。

市職員の地区担当職員制度も導入し、住民の声、意見を丁寧に聞き取っていきたい。

合併以降継続して市民の声を聞き、地域における課題の把握にも努めその解決を図ってきており、改めて合併の評価に関する市民アンケート等は実施する考えはない。

問 合併調整によって廃止された旧町村の住民サービスの再評価はされないか。
新入生に対するランドセル贈呈は、制度が

廃止された後も、保護者がランドセルの共同購入を組織している。

出産祝い金は旧羽黒町と旧温海町の制度で、第3子以降に支給されていた。

高齢者ハイヤー券は旧藤島町が実施し、住民の継続要望が最も大きいサービスだ。

総務部長 合併調整は財政重視のサービスカットではなく、新市として講ずべき施策を構築することを主眼としたものだ。

調整の結果、廃止に至った事業はあるが、一部の旧市町村で行っていた施策を全市に展開し、サービスの充実が図られたものは数多くある。

各種施策について常に見直しを行い住民ニーズに対応した効果的な施策の構築に努めており、調整項目の再評価はない。

問 当局の合併評価はバラ色だが、市民の生活実態は地域格差の拡大だ。

旧町村の出生数が激減している。
職員数を減らしてきたことが、合併のマイナス効果を大きくしてきた。

旧町村の庁舎は職員数がいなくなつてガラガラになって寂しい限りだ。

地域庁舎に予算と権限、職員を配置して周辺部から活性化していかないと今後、中心部

でも衰退していくことになる。

総務部長 周辺部の人口減は合併によるものかどうか実証がない。

旧鶴岡も含めて一つの経済圏で力を合わせて地域振興を進めていくということが合併の背景としてあった。他の合併市と比べて

除雪の支障となるマンホール等の対策は

問 除雪作業で支障となる下水道のマンホールや水道の止水栓の蓋など、アスファルトが減ってきて突出している箇所が多数ある。

除雪時には蓋などが破損されないよう、対策工事の実施が必要かどうか。

建設部長 道路内にあるマンホールや水道の止水栓とか制水弁、いわゆる弁筐(べんきょう)と呼ぶが、除雪作業をする上で注意を要する構造物である。

今年度の場合、市全体で559箇所の段差箇所があり、182箇所ですりつけ工事をして

併せて事故の予防対策として、注意を要する場所に目印をつけて除雪オペレーターが段差にぶつからないよう対策を講じている。

今年度の段差処理に係る補修工事は約5百万円となっている。

も鶴岡市は地域の力を活かしていると考えている。

職員数の削減は人口減少や地域社会の変化に対応したもので、今後も地域庁舎が中心となって取り組むべき機能・課題があり、そのための体制強化は引き続き図っていきたい。

通常の除雪作業で破損した場合は、原則として市で補修し、除雪業者の負担になることはない。

対策工事の所管は、土木課と各建設事務室が担当し、道路占用物件となっているマンホールや止水栓など弁筐の管理者(上・下水道課)との協議により、占用者から施工して貰う場合もある。

安全な除雪作業のためには、道路上の段差解消は大変重要であり、できる限り解消を図っていきたい。

温海建設事務室入札結果 () 内は予定価格

- 3月12日入札分
- ・ 楨代4号線道路改良工事(債務負担行為)(楨代地内) 中止
- ・ 越沢1号線舗装改良工事(債務負担行為)(越沢地内) 山形工業(株) 2,650,000円 (3,254,000円) 工期~6/30 (落札率81.4%)

土木課入札結果 () 内は予定価格

- 3月12日入札分
- ・ 加茂中学校前港湾線道路改良工事(債務負担行為)(加茂地内) (株)小田産業 5,230,000円 (5,385,000円) 工期~6/30 (落札率97.1%)
- 2月26日落札決定保留分
- ・ 本町三丁目井岡線道路改良工事(債務負担行為)(本町三丁目地内) (有)諏訪建設 4,020,000円 (5,135,000円) 工期~6/1 (落札率78.3%)